

The art of sound

WESAUDIO

www.WESAUDIO.com



取扱説明書

(株) アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

「このたびは WesAudio Timbre をお買い上げいただきありがとうございました！」

-- **WesAudio Radoslaw Wesolowski**

Thank You for the purchase of Timbre

Timbre

All tube Vari-mu mono compressor.

With kind regards



Radoslaw Wesolowski

About Timbre

WesAudioのTimbre（ティンバー）は、オリジナル・ビンテージのGates STA-Levelコンプレッサーをリファインした「アップグレード・バージョン」です。6386真空管を使用した、オールチューブ回路の「Vari-Mu」コンプレッサー・デザインは、シンプルな操作性と素晴らしい質感を持ち、Gates STA-Levelの滑らかなコンプレッションを、現代のレコーディング環境に再現します。

Timbreでは最高の品質を持った厳選されたパーツを選択しただけでなく、多くの新たなファンクションを、この素晴らしいGates STA-Levelの設計に融合させることに成功しています。新たに加えられた3つめのモード（より短めのアタックタイム）、ハイパス・サイドチェイン・フィルター、ステレオ・オペレーションのためのリンク機能、バイパス・ファンクションなどが加えられたことで、現代にも通用する使い勝手と、美しく滑らかなビンテージ・コンプレッション・サウンドが達成されています。

Timbreでは新たなプログラム・コントロールのリリース回路を採用したことで、40dBのリダクションをかけたとしても、サウンドの密度や整合性を失うことはありません。

ビンテージ機器の素晴らしいサウンドはそのままに、現代のレコーディング環境において新たな選択肢を広げてくれるWesAudioならではのアプローチは、Timbreにおいても極めて高いレベルで実現されています。



Features

- ・名機 Gates STA-Level の Vari-Mu 式コンプレッション
- ・6386 真空管を使用したオール・チューブのバランス回路
- ・高品位 Carnhill (カーンヒル) トランスフォーマー採用
- ・Single/Double/Triple モード・オペレーション
- ・6 ステップのリリース・タイム・スイッチ
- ・サイドチェイン・ハイパス・フィルター装備
- ・ステレオ・リンクのためのリンク・ファンクション

Wes Audio とは？

WesAudio の製品を手にとった時にまず感じるのが、その質実剛健な「物作り」への姿勢です。美しい仕上がりの 4mm 厚のずっしりとした筐体や、しっかりとしたノブアクション、高品位で信頼感のあるオリジナルメーター、細部まで丁寧に配慮が行き届いたサーキットボードなど、至るところに製品へのプロフェッショナルな情熱が感じられます。WesAudio は近年オーディオ分野での活躍が目覚ましいポーランドで、設計者の Radoslaw Wesolowski を中心に開発・生産されています。【The Art of Sound】というキーワードを掲げ、その丁寧な仕事と熟練のサウンドメイクが人気の秘密です。

1_Installation

WesAudio Timbre は EIA 2U ラックマウント・サイズです。本機は真空管設計で熱を持ちますので、ラックマウントされる際はかならず本機の上側に 0.5U 以上のスペースを空けて使用するようになしてください。またラック自体で密閉度の高い場合には放熱用のスリットなどがあるラックに設置されることをお勧めいたします。

また本機は真空管回路のため、電源をオンにしてから**最低でも 15 分は待ってから使用**されることをお勧めいたします。

また本機は 115V 仕様です。必ず 115V 環境でご使用ください。

警告！

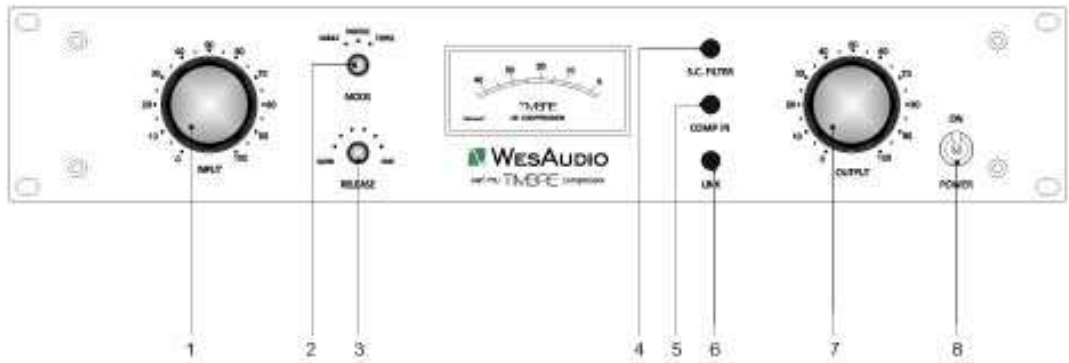


本機 WesAudio Timbre は極めて高い電圧で設計されていますので、電源コンセントを接続した状態でユニットの内部にアクセスしないでください。誤って回路に触れることは極めて危険です。また、必ずグラウンドのとれる電源環境で使用し、正しい電圧(100-115V)でご利用いただけますようお願いいたします。

- Fuse の交換は必ず弊社までご相談ください。

115V -IEC 127 20 x5 mm T630ma

2_Front Panel



1_Input

Timbre に入力されるレベルをコントロールします。コンプレッションまたはリミッティングのためのスレッショルドとして利用ができます。

2_Mode

アタックとリカバリーのキャラクターにより、以下の 3 タイプの異なるコンプレッション・モードを切り替えて使用できます。SINGLE (アタック 遅い、クリア) → TRIPLE (アタック早い、倍音増える)。

- ・ **SINGLE** = 遅めのアタックタイムをもった、シンプルながらとても滑らかなビンテージ・サウンドのコンプレッションが得られるモードです。

- ・ **DOUBLE** = たいへん優秀なプログラム・コントロールによるアタック&リリース・コントロールを採用したモードです。従来のコンプレッサーのような「ポンピング」感のない、細部の表現性まで保たれたままの自然なコンプレッションを可能にしています。

- ・ **TRIPLE** = DOUBLE モード同様のプログラム・コントロールによるコントロールですが、より高速なアタックタイムを実現したモードです。ゲインリダクション量が少なめのアプリケーションで使用するとより良い効果が得られます。

3_Release

Timbre では 6 タイプのリリースタイムを選択可能です。一番左のポジションが標準的な「遅めのリリースタイム」のポジションです。右側にクリックを回していくほど「リリースタイムは速く」なります。

4_S.C Filter

ハイパス・サイドチェイン・フィルター(約 75Hz)を有効にすることで、コンプレッサーの検知器がサウンドの低域に過剰に反応してしまうことを防ぐことができます。

5_Comp In

このスイッチが有効になるとリレーによりハード・バイパスされます。

6_Link

2 台の Timbre をステレオ・リンクさせたい場合に使用します。詳細は後記(Linking Compressor)の章をご覧ください。

7_Output

出カレベル（メイクアップ・ゲイン）を調整します。

8_Power

電源スイッチです。

Meter について

メーターの 0 位置は内部温度（周囲温度）と供給電源電圧により決まります。使用中にも温度変化などにより変動することが考えられます。また本機は必ず 115V でご利用ください。100V でのご利用はメーターの 0 位置が大きくなる場合がございます。詳細は弊社技術部までご相談ください。

3_Rear panel

1、Power Select

入力電源電圧を 115V または 230V で変更できます。ステップアップトランスなどをご用意いただき規定の電圧でご使用ください。間違えたご使用は機器を壊す場合がございますので必ずご確認のうえでご使用ください。**必ず 115V でご使用ください。**

2、Power Inlet and Fuse

付属の電源ケーブルをご使用ください。ヒューズは **115V オペレーションでは IEC 127 20×5mm T630mA** のものをご使用ください。(もし 230V オペレーションの場合には IEC 127 20×5mm T315mA)

3、Link

2 台をリンクさせる場合に使用します (後記する Linking Compressor の章をご参照ください)

4、OUTPUT

XLR 出力コネクタ

5、INPUT

XLR 入力コネクタ

4_Linking Compressors

2台のTimbreをステレオリンクさせて使用する場合にはTSフォン(MONO)ケーブルが別途必要になります。2台のコンプレッサーは同じコンプレッション信号を使用できます。正しいオペレーションのためには2台のTimbreの(ノブなどの)設定は2台とも完全に同じ設定に合わせて使用してください。

5_Specifications

- Frequency response: 20Hz-30kHz (0.5dB)
- THD+N: up to 1%
- Input impedance: transformer balanced: 600ohm
- Output impedance: transformer balanced: 600ohm
- Max gain: 45dB
- Max gain reduction : 40dB
- Mode: single, double, triple
- Balanced output and input (XLR Amphenol)
- Case Rack 2U
- Dimensions : 88 x 483 x 235 mm
- Weight 7kg